

平成 27 年 8 月 25 日  
学校関係者評価委員会

## 学校関係者評価報告書

平成 26 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

#### 1. 学校関係者評価委員

- ①松島 陵介 (社会福祉法人うまぐりの里 障害福祉サービス事業所ゆーあい工房 職業指導員)
- ②北條 豊 (合同会社あゆみの森 デイホームあゆみ 代表社員)
- ③川村 祐也 (医療法人常盤会 緑の屋根診療所)
- ④須藤 智宏 (医療法人心救会 小山富士見台病院)
- ⑤岩崎 さゆり (医療法人社団友志会 石橋総合病院 地域医療連携部長)
- ⑥中島 幸子 (株式会社コミュニティー研究所 代表取締役)
- ⑦中里 佳純 (大澤歯科医院)

#### 2. 学校関係者評価委員会の開催状況

平成 27 年 8 月 20 日 (木曜日) (会場 マロニエ医療福祉専門学校 3 号館 演習室)

#### 3. 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

以上

## 別紙

### 学校関係者評価委員会報告

#### (1) 教育理念・目標

##### 【評価項目】

- ・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）
- ・学校における職業教育の特色は何か
- ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ・各学科に教育、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか
- ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

##### 【総合評価ポイント】 4（適切）

##### 【委員からの意見・助言】

- ・職業教育として、「社会人として求められる人間性の教育」はとても大切である。
- ・基本理念が明確であり、またその方向は業界のニーズに向けられている。
- ・新しい課程の創設をしている。

#### (2) 学校運営

##### 【評価項目】

- ・目的等に沿った運営方針が策定されているか
- ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- ・人事、給与に関する規程等は整備されているか
- ・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
- ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか

##### 【総合評価ポイント】 3. 4（適切）

##### 【委員からの意見・助言】

「学校運営」については、委員からの意見はありませんでした。

#### (3) 教育活動

##### 【評価項目】

- ・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか
- ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか
- ・関連分野の企業、関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか

- ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか
- ・授業評価の実施、評価体制はあるか
- ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- ・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか
- ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務、兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか
- ・関連分野における先端的な知識、技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
- ・職員の能力開発のための研修等が行われているか

**【総合評価ポイント】** 3. 5 (適切)

**【委員からの意見・助言】**

- ・カリキュラムの内容については、卒業生の意見を取り入れるとよい。

#### (4) 学修成果

**【評価項目】**

- ・就職率の向上が図られているか
- ・資格取得率の向上が図られているか
- ・退学率の低減が図られているか
- ・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

**【総合評価ポイント】** 3. 4 (適切)

**【委員からの意見・助言】**

- ・退学者の減少に向けて取り組んでいる。経済的理由からの継続困難者に対して救済措置が図られており、評価できる。学校教育の成果は卒業に現れていると考える。
- ・卒業後の状況把握は大変重要と感じている。ぜひ取り組みをお願いしたい。
- ・同窓会事務局と連携し、卒業生の活躍を把握できる体制については、不十分と評価する。連絡員の見直し等行ってほしい。

#### (5) 学生支援

**【評価項目】**

- ・進路、就職に関する支援体制は整備されているか
- ・学生相談に関する体制は整備されているか
- ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ・課外活動に対する支援体制は整備されているか

- ・学生の生活環境への支援は行われているか
- ・保護者と適切に連携しているか
- ・卒業生への支援体制はあるか
- ・社会人ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- ・高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか

**【総合評価ポイント】** 4（適切）

**【委員からの意見・助言】**

- ・ボランティア活動の活動費補助支援は、ボランティア活動を活発に行える対策となっている。

## （6） 教育環境

**【評価項目】**

- ・施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- ・防災に対する体制は整備されているか

**【総合評価ポイント】** 4（適切）

**【委員からの意見・助言】**

- ・すべての項目について適切に行われている。実習の対応も適切にできている。
- ・実習中、定期的な訪問などを通し学生の状況を伝えやすく、学校生活の様子などを把握できる。実習中指導しやすく、一人ひとりきちんと指導できている。

## （7） 学生の受入れ募集

**【評価項目】**

- ・学生募集活動は、適正に行われているか
- ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ・学納金は妥当なものとなっているか

**【総合評価ポイント】** 4（適切）

**【委員からの意見・助言】**

- ・学生の募集について、大変だとは思いますが、（8）にも関係してくることであるので、定員に近付けられるよう頑張ってもらいたい。

## （8） 財務

**【評価項目】**

- ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ・財務について会計監査が適正に行われているか
- ・財務情報公開の体制整備はできているか

**【総合評価ポイント】** 4（適切）

**【委員からの意見・助言】**

「財務」については、委員からの意見はありませんでした。

## (9) 法令等の遵守

### 【評価項目】

- ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- ・自己評価結果を公開しているか

### 【総合評価ポイント】 4 (適切)

### 【委員からの意見・助言】

「法令等の遵守」については、委員からの意見はありませんでした。

## (10) 社会貢献・地域貢献

### 【評価項目】

- ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか
- ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- ・地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか

### 【総合評価ポイント】 3.7 (適切)

### 【委員からの意見・助言】

- ・学生数が増えると、ボランティアへの関わりも増えてくると思われる。
- ・ボランティア活動をより奨励し、学生の意識を高めていければよい。学生時代のボランティア活動は大きな経験となり、就職後に影響することもある。より積極的にボランティア活動を行い、質を高めてほしい。